Q

補助金制度創設は。

A

早期の整備に向け進めたい。

問

みどり市道路反射鏡設置要綱第3条中、⑴公道の湾曲部又は屈曲部であって前方の見通しが悪い場所とある。文章のみでは分かりづらい。説明図をつけるか、端的明瞭な文章にするか。危機管理監分かりやすい表現になるように工夫していきたい。

問

道路反射鏡面維持管理では、汚れやすく傷つきやすいものもある。市民に清掃依頼をするのではなく、専門業者に委託しては。危機管理監清掃を行ったために傷ついた事例もある。

20 × 20

検討したい。

問　市民要望の多い道路反射鏡だ。みどり市ホームページなどに設置についての詳細掲載を。

危機管理監　共通認識としてホームページに掲載したい。

問　白内障に対する認識は。

保健福祉部長　白内障は、加齢などの原因から瞳の水晶体が濁ってしまう病気で、発症すると視力が低下するなどの症状が現れる。

問　手術に踏み切る要因は、視力低下のため自動車免許証更新ができなくなり、改善するために手術を行うなどである。手術自体は、保険適用だが、術後、焦点が

合わなくなるため新たにめがねを作成する必要がある。

本市において、めがね作成などの補助金制度創設は。

保健福祉部長　患者の生活環境改善のため、術後に対する補助金制度創設について提案をいただき、早期の整備に向け検討したい。

問　新型コロナウイルス感染症への対応は、感染拡大防止と社会経済活動の両立をどう図るかが需要。今後、どのような対策で本市の地域性を生かすのか。

産業観光部長　みどモス応援券の3回目の支給などで、活性化を進めたい。また、対策の申請時についても対象者全員が簡単な手続きで

受けられるように関係機関が手助けなどしていく。

問　夏休み明け直後に学級閉鎖などが発生している。

また、行事の実施により感染者が出るなど、疑問視する声もある。コロナへの警戒心が薄れているような教育現場ではないのか。

教育部長　再度しっかり対応する。今まで以上に、感染防止に必要な指導や児童生徒が感染してしまった場合の対応を行い、コロナ禍で児童生徒が不安や体の不調を抱えているとの指摘から相談体制を強化する中で、きめ細かな支援に取り組む。

20 × 20